



# はじめに

## Cloud Volumes Service for Google Cloud

NetApp  
April 07, 2022

# 目次

はじめに .....	1
Cloud Volumes Service for Google Cloud の詳細をご覧ください .....	1
Cloud Volumes Service for Google Cloud のクイックスタート .....	2
Google Cloud をセットアップします .....	2
Cloud Volumes Service for Google Cloud の作業環境を作成します .....	3

# はじめに

## Cloud Volumes Service for Google Cloud の詳細をご覧ください

NetApp Cloud Volumes Service for Google Cloud を使用すると、マルチプロトコルワークロードを迅速に追加できるだけでなく、Windows ベースと UNIX ベースの両方のアプリケーションを構築、導入することができます。

### 主な機能：

- オンプレミスと Google Cloud 間でデータを移行
- ボリュームを 1 から 100TiB に数秒でプロビジョニング
- マルチプロトコルのサポート（NFS または SMB ボリュームを作成できます）
- 自動化された効率的なスナップショットでデータを保護します。
- 迅速なクローニングでアプリケーション開発を高速化

### コスト

Cloud Volumes Service for Google Cloud で作成されたボリュームには、Cloud Manager ではなくサービスへのサブスクリプションが課金されます。

Cloud Volumes Service for Google Cloud のリージョンまたはボリュームを Cloud Manager から検出する場合、料金は発生しません。

["Google Cloud Marketplace で価格を確認"](#)

### サポートされている地域

["サポートされている Google Cloud リージョンを表示します。"](#)

### 始める前に

Cloud Manager では、既存の Cloud Volumes Service for GCP サブスクリプションとボリュームを検出できます。を参照してください ["NetApp Cloud Volumes Service for Google Cloud のドキュメント"](#) 月額プランをまだ設定していない場合は、

### サポートを受ける

Cloud Manager の Cloud Volumes Service 処理に関する一般的な質問については、Cloud Manager のチャットを使用してください。

Cloud Volumes Service for Google Cloud に関する一般的な質問については、ネットアップの Google Cloud チームに [gcinfo@netapp.com](mailto:gcinfo@netapp.com) まで E メールでお問い合わせください。

クラウドボリュームに関連する技術的な問題については、Google Cloud Console を使用してテクニカルサポ

ートケースを作成できます。を参照してください ["サポートを受ける"](#) を参照してください。

## 関連リンク

- ["NetApp Cloud Central : Cloud Volumes Service for Google Cloud"](#)
- ["NetApp Cloud Volumes Service for Google Cloud のドキュメント"](#)

# Cloud Volumes Service for Google Cloud のクイックスタート

これらの手順を実行するか、リンク先を参照して詳細を確認してください。

Google で、Cloud Volumes Service for GCP API を有効にして、Cloud Manager がサブスクリプションとクラウドボリュームを管理できるようにします。

["API を有効にする方法について説明します"](#)。

Google で、サービスアカウントとロールを作成して、Cloud Manager から Cloud Volumes Service for Google Cloud アカウントにアクセスできるようにします。

["サービスアカウントの設定方法について説明します"](#)。

Cloud Manager で、\* 作業環境の追加 \* > \* Google Cloud \* > \* Cloud Volumes Service \* をクリックし、サービスアカウントと Google Cloud プロジェクトの詳細を指定します。

["作業環境の作成方法について説明します"](#)。

## Google Cloud をセットアップします

Cloud Manager は、Cloud Volumes Service API にアクセスする必要があり、Google Cloud サービスアカウントから適切な権限を取得する必要があります。

### Cloud Volumes Service API を有効にします

Google Cloud Shell で、次のコマンドを実行して Cloud Volumes Service API を有効にします。

```
gcloud --project=<my-cvs-project> サービスは cloudvolumesgcp-api.netapp.com を有効に  
します
```

### サービスアカウントを設定します

Cloud Manager が Google Cloud プロジェクトにアクセスできるようにするには、次のタスクを実行します。

- 新しいサービスアカウントを作成します
- 新しいサービスアカウントメンバーをプロジェクトおよびに追加します IT 固有のロール（権限）の割り当て
- サービスアカウントのキーペアを作成してダウンロードします Google への認証に使用されます

## 手順

1. Google Cloud コンソールで、"[\[ サービスアカウント \]](#) ページに移動します"。]
2. [[\\* プロジェクトの選択 \\*](#)] をクリックし、プロジェクトを選択して [[\\* 開く \\*](#)] をクリックします。
3. [[サービスアカウントの作成 \\*](#)] をクリックします。
4. サービスアカウント名（フレンドリ表示名）と概要を入力します。

Cloud Console は、この名前に基づいてサービスアカウント ID を生成します。必要に応じて ID を編集します。後で ID を変更することはできません。

5. 今すぐアクセスコントロールを設定するには、ページの下部にある「[\\* 作成 \\*](#)」、「完了 [\\*](#)」の順にクリックして、次の手順に進みます。
6. `_iam` ページの `_Click * Add *` をクリックし、`_ Add Members_page` のフィールドに入力します。
  - a. [新しいメンバー] フィールドに、[user1-service-account-cvs@project1.iam.gserviceaccount.com](#) などの完全なサービスアカウント ID を入力します。
  - b. 追加するロールは次のとおりです。
    - `NetApp Cloud Volumes Admin` `_`
    - `ネットワークビューアを計算します` `_`
  - c. [保存（Save）] をクリックします。
7. [[サービスアカウント名](#)] をクリックし、`_Service` アカウントの詳細ページで、[[\\* キーの追加 > 新しいキーの作成 \\*](#)] をクリックします。
8. キーのタイプとして `* json *` を選択し、`* Create *` をクリックします。

[`* Create`] をクリックすると、新しい公開鍵と秘密鍵のペアが生成され、システムにダウンロードされます。秘密鍵の唯一のコピーとして機能します。このファイルは、サービスアカウントとしての認証に使用できるため、安全に保管してください。

詳細な手順については、Google Cloud のドキュメントを参照してください。

- "[サービスアカウントの作成と管理](#)"
- "[リソースへのアクセスの許可、変更、取り消しを行います](#)"
- "[サービスアカウントキーの作成と管理](#)"

## Cloud Volumes Service for Google Cloud の作業環境を作成します

ボリュームと Snapshot を作成および管理できるように、Cloud Manager で Cloud Volumes Service for Google Cloud 作業環境を作成します。

Google Cloud Console からボリュームを作成済みかどうかに関係なく、Cloud Volumes Service for Google Cloud にサインアップしてまだボリュームを持っていない場合は、最初に GCP サブスクリプションに基づいてボリュームの作業環境を作成します。

このサブスクリプション用のクラウドボリュームがすでに存在する場合、ボリュームは新しい作業環境に表示されます。GCP サブスクリプションにまだクラウドボリュームを追加していない場合は、新しい作業環境を

作成した後で追加します。



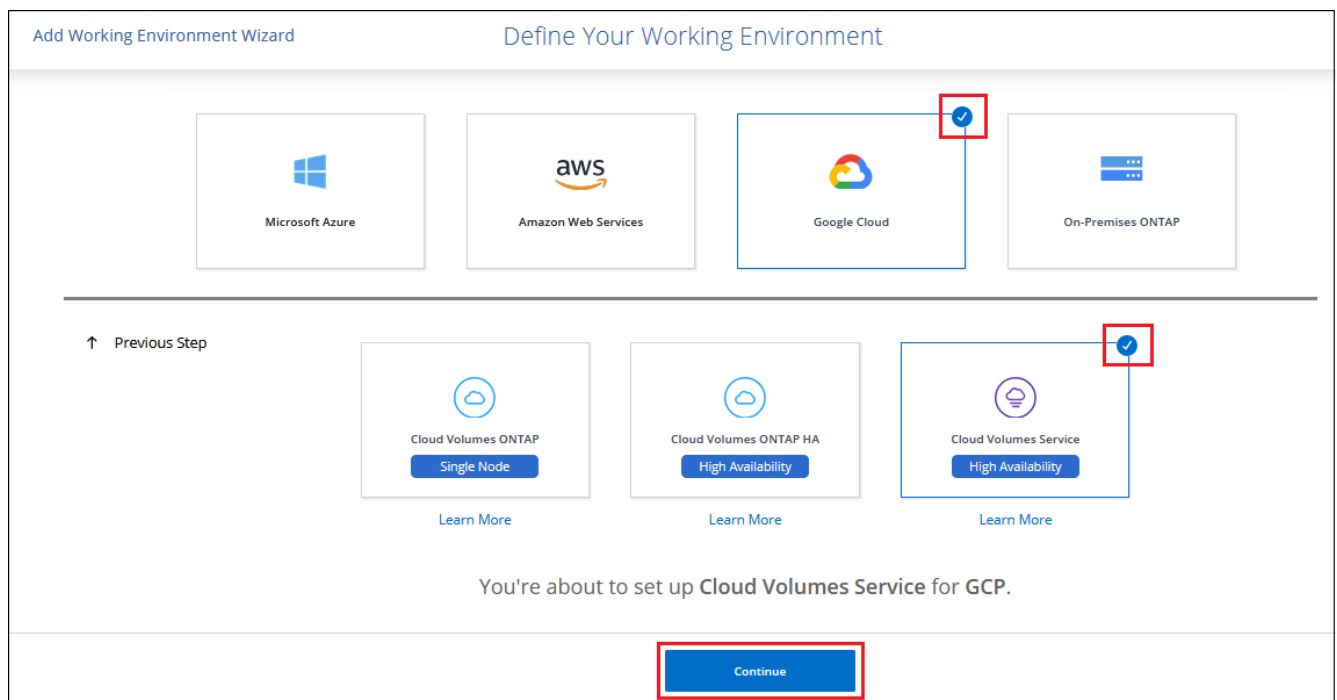
複数の Google Cloud プロジェクトにサブスクリプションとボリュームがある場合は、プロジェクトごとにこのタスクを実行する必要があります。

各プロジェクトのサブスクリプションを追加する際は、次の情報を確認しておく必要があります。

- サービスアカウントのクレデンシャル（ダウンロードした JSON 秘密鍵）
- プロジェクト名

#### 手順

1. Cloud Manager で、新しい作業環境を追加し、場所として「\* Google Cloud \*」を選択し、「\* Continue \*」をクリックします。
2. 「\* Cloud Volumes Service \*」を選択し、「\* Continue \*」をクリックします。



3. Cloud Volumes Service サブスクリプションに関する情報を入力します。
  - a. 使用する作業環境名を入力します。
  - b. 前の手順でダウンロードした JSON 秘密鍵をコピーして貼り付けます。
  - c. Google Cloud プロジェクトの名前を選択します。
  - d. [\* Continue（続行）] をクリックします

Cloud Volumes Service Credentials

Working Environment Name

Service Account Credentials

Paste the contents of the JSON file here

Apply

Project

- Select project -

Cloud Manager に Cloud Volumes Service for Google Cloud の作業環境が表示されます。



このサブスクリプションに Cloud Volume がすでに存在する場合は、新しい作業環境にボリュームが表示されます。Cloud Manager からクラウドボリュームを追加することができます。

このサブスクリプションにクラウドボリュームが存在しない場合は、ここで作成します。

"ボリュームの作成を開始します"。

## Copyright Information

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.